自己啓発の会 運営チェックリスト

1. 「黙々と勉強する会」運営チェックリスト

【事前準備】

スケジュールと告知

- □ 定期開催日時の設定(例:毎週水曜日18:00-19:30)
- □四半期単位のスケジュール表の作成
- □ Teams会議リンクの作成
- □ 社内ポータルやメールでの開催告知(1週間前までに)
- □ 直前リマインダーの送信(前日または当日午前中)

参加者サポート

- □初参加者向けの案内資料の準備
- 事前アンケートの実施(学習テーマや希望など)
- □学習リソース・参考資料の共有(書籍、記事、動画など)
- □共有フォルダの整理と必要資料のアップロード
- □ Q&A対応の準備(よくある質問のリスト化)

環境準備

- □ Teams設定の確認 (録画の可否、参加者の権限など)
- □ 必要に応じたブレイクアウトルームの設定計画
- □バックアップ通信手段の確保(Teams障害時の連絡先など)
- □ タイマーアプリの準備(ポモドーロテクニック使用時)
- □ BGM使用時の音源準備(希望がある場合)

【当日】

開始前

- □会議室を予定時刻の15分前にオープン
- □システム動作確認(音声、画面共有など)
- □参加者への挨拶と入室確認
- □初参加者への個別ウェルカムメッセージ

セッション進行

- □ 開始の挨拶と本日の流れ説明(5分以内)
- □参加者による簡単な学習目標宣言(各自30秒程度)
- □集中学習時間と休憩時間の案内(例:25分学習+5分休憩)
- ロタイマー設定と共有
- □休憩時間の合図
- ロチャットでの質問対応

□必要に応じた軽いBGMの提供

終了時

- □ 終了10分前のアナウンス
- □各自の振り返り共有(学んだこと、気づきなど、各自1分程度)
- □次回の予告と案内
- □参加御礼と終了の挨拶
- □ フィードバックフォームのリンク共有

【事後】

記録と共有

- □参加者リストの記録
- □参加者から共有された学びのポイントの整理
- □共有チャットや資料の保存
- □録画がある場合は適切な場所への保存とリンク共有

フィードバック分析

- □参加者からのフィードバック収集と分析
- □ 改善点の特定と次回への反映事項の整理
- □参加状況の推移確認(参加者数の増減など)

次回準備

- □次回開催に向けた準備事項の洗い出し
- □参加者からのリクエストや提案の整理
- □継続学習のためのリソース共有

コミュニケーション

- □ Teamsチャットでの事後フォロー
- □質問や議論の継続サポート
- □ 欠席者への情報共有

2. 「ディスカッションする会」運営チェックリスト

【事前準備】

テーマと資料

- □ディスカッションテーマの選定と明確化
- □ 論点・質問事項の整理(3~5個程度)
- □ テーマに関する基礎資料の準備と事前共有
- □参考文献・記事リストの作成
- □議論の到達目標の設定

参加者準備

- □ 開催告知(2週間前までに)と参加者募集
- □事前課題の提示(任意または必須の明示)
- □役割分担の検討(ファシリテーター、タイムキーパー、記録係など)
- □ グループ分けの検討(必要な場合)
- □初参加者へのオリエンテーション資料送付

会議設定

- Teams会議リンクの作成
- □議事進行表の作成
- □共有ホワイトボードの準備
- □ 投票ツールの準備(必要に応じて)
- □ タイムテーブルの作成(セクションごとの時間配分)

【当日】

開始前

- □会議室を予定時刻の15分前にオープン
- □ 資料・ツールの最終確認
- ロファシリテーターとの最終打ち合わせ
- □参加者への挨拶と入室確認

セッション進行

- □ 開始の挨拶とテーマ説明(5分以内)
- ロアイスブレイクの実施(5-10分)
- ロディスカッションのルール説明
- □ テーマ導入と基礎情報の共有(10分程度)
- ロメインディスカッションの進行
 - 。 □発言機会の均等な提供
 - □議論の要点の記録・可視化
 - □時間管理と議論の軌道修正
- □ 中間まとめ(必要に応じて)
- □グループワーク進行(設定がある場合)
- □グループ発表・全体共有

終了時

- □ 議論の要点・結論のまとめ
- □次のアクションプランの確認
- □参加者からの感想・学び共有
- □次回テーマのアイデア収集
- □参加御礼と終了の挨拶
- □フィードバックフォームのリンク共有

【事後】

ドキュメント作成

- □議事録の作成と共有
- □議論の要点・結論のまとめ文書の作成
- □参考資料・リンク集の整理
- □次回に持ち越す論点の整理
- □録画・録音の編集と共有(同意がある場合)

フォローアップ

- □ 議論から生まれたアクションプランの進捗確認方法の設定
- 継続的な意見交換の場の提供(Teamsチャンネルなど)
- □追加資料の共有(議論中に言及された情報など)
- 関連するイベントや情報の共有

評価と改善

- □参加者からのフィードバック収集と分析
- ロディスカッション品質の自己評価
- □ 改善点の特定と次回への反映事項の整理
- □ファシリテーション手法の振り返りと学び

次回準備

- □次回テーマの候補リストアップ
- □参加者からの提案の検討
- □役割分担の見直し(持ち回りの検討など)
- □ 長期的なテーマ計画への反映

3. 共通の継続的取り組み

コミュニティ育成

- □参加者プロフィール・専門分野マップの作成・更新
- □月次の活動サマリーの作成と共有
- □運営メンバーの拡充計画
- □コアメンバーとの定期ミーティング(月1回程度)

データ管理

- □参加者データベースの更新(参加履歴、関心テーマなど)
- □ 学習リソースライブラリの整備
- □ナレッジベースの構築と拡充
- □活動記録の整理(四半期・年次報告用)

組織的位置づけ

- □上司・人事部門への活動報告
- □ 社内研修プログラムとの連携検討
- □活動成果の社内広報
- □経営層への定期報告資料の準備

運営者の自己成長

- □ファシリテーションスキルの向上計画
- □コミュニティ運営の勉強会・研修への参加
- □運営振り返りの記録
- □メンタリング・コーチングスキルの向上